

凌雲の会 行政視察報告書

焼津市議会議長 鈴木 浩己 様

凌雲の会

(報告者：内田)

令和元年12月13日に、大井川土地改良区の視察調査を行いましたので、その概要について次のとおり報告します。

[期間]

令和元年12月13日(金)

[参加者]

池谷 和正、渋谷 英彦、村松 幸昌、石田 江利子、松島 和久、須崎 章、
藁科 寧之、河合 一也、増井 好典、安竹 克好、内田 修司

[視察場所]

大井川土地改良区事務所（静岡県島田市身成）

川口取水口（静岡県島田市身成）

大井川水路橋（静岡県島田市神座）

伊太発電所（静岡県島田市伊太）

栃山頭首工（静岡県島田市御請）

源助発電所（静岡県藤枝市源助）

木屋川吹出口（静岡県藤枝市高洲）

1. 視察目的

大井川土地改良区は大井川用水を管理し、志太榛原地区に農業用水を提供している。大井川用水の主要施設を視察して、その内容を理解するとともに、今後の更新

の状況などを視察する。

2. 大井川用水概要

設立年月日 昭和26年8月5日

関係市町 4市1町（島田市、藤枝市、焼津市、吉田町、牧之原市）

賦課面積 2,838ha

組合員数 9,976人

最大取水量 かんがい期 24.934 m³/s 非かんがい期 10.007 m³/s

3. 視察内容

(1) 大井川土地改良区事務所

国営事業完工記録DVD視聴、大井川土地改良区概要説明、質疑応答

(2) 川口取水口 施設見学

(3) 大井川水路橋 施設見学

(4) 伊太発電所 施設見学

(5) 枋山頭首工 施設見学

(6) 源助発電所 車窓見学

(7) 木屋川吹出口 施設見学

4. 所感

昭和26年に大井川用水が設立され、昭和47年に現在のような用排水路が整備され、現在に至るまで継続して主に農業用水を提供している。それぞれの設備を適宜更新して、管理を行い、問題なく水を提供してくれることにより、農業者には農作物の「命の水」を提供し、そのほか、生活用水・防火用水・環境用水に使用されている。

最近では平成11年度より再整備事業に着手し、主要な設備の改修が行われ、これらの工事が平成29年度に完了し、安定して用水を提供できている。大井川土地改良区が大井川用水を受益地に円滑に配水していることによって、地域が受けているものは大きいものがあり、今回主要な設備を見学することが出来たことで、その重要性を再認識することが出来た。また、地域としては大井川土地改良区と協力しながら、継続して事業を進めていくことが大事であると感じた。

